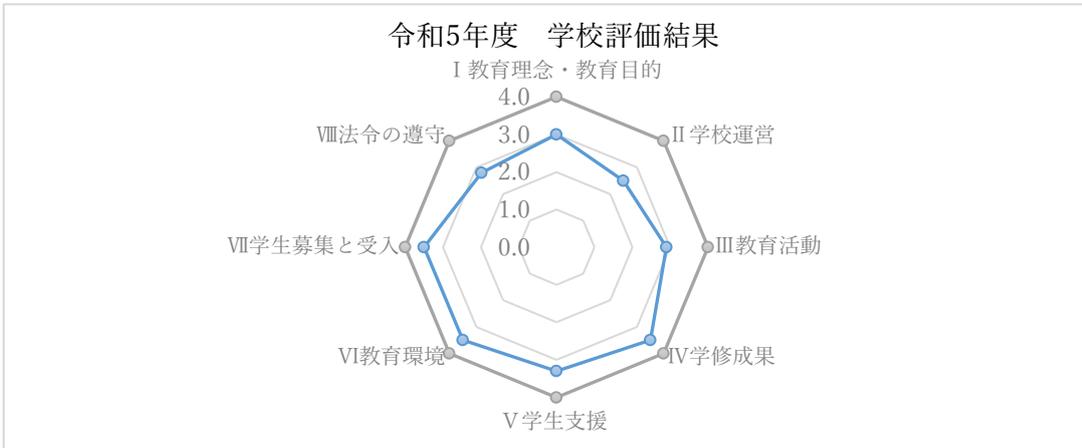


本校の設置主体は気仙沼市であり、地域に根差し主体的に社会に貢献できる看護師の育成を目指しています。学校運営の改善および教育の質の向上を目指し、学校評価を行いました。

基準を4：適切 3：ほぼ適切 2：やや適切 1：不適切の4段階としました。

結果は以下の通りです。

1 評価結果



2 カテゴリーごとの評価結果

I 教育理念・教育目的

学校の教育理念・目的・目標は学校案内、学生生活の葉、実習要綱に記載されており、学内掲示をしている。オープンキャンパスや高校ガイダンス等での説明や、入学時保護者オリエンテーション等を利用して理解を深めている。一方でアドミッションポリシーについて明文化したものの公表が課題である。また、ディプロマポリシーと総合的に到達度評価していくことも今後の課題である。

II 学校運営

教育理念に基づき、教育計画を策定し、運営をしている。学校運営上の課題については、教職員で情報の共有を図り、解決に向けて取り組んでいる。情報公開については、学校ホームページがうまく活用されておらず、課題である。また、システム化を推進し、業務の効率化を図っていくことが必要である。

III 教育活動

教育理念に沿って、体系的に教育課程の編成および実施計画等を作成している。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、実習施設、講師の協力のもと、令和5年度も計画通りにカリキュラムを遂行することができたが、新旧カリキュラムの並行運営や職員の入れ替わり等により人材不足も否めない状況であった。教職員配置は、持続的な人員確保計画を検討していく。

教員の資質向上に向け、研修会や学会への参加を推進したが、新型コロナウイルス感染症の影響等によりオンライン参加が増えた。オンラインも含め、今後も積極的に外部研修会、学会への参加をすすめ資質向上を図っていく。成績評価基準は、学生生活の葉に掲載し、学生にも説明している。看護師国家試験対策は、低学年から段階的に行っている。また指導体制を整え、学生の状況に応じて個別に対応している。授業評価をもとに教育活動の改善を図れるよう整備していくことが課題である。

IV 学修成果

看護師国家試験について、令和5年度卒業生は全員合格した。また、卒業生はそれぞれ就職しているほか、2名進学している。退学者について、個別に対応しそれぞれの進路に向けてフォローを行っている。

V 学生支援

計画に基づいた就職ガイダンス等の他、個別支援も行っている。教員の個別面談の他、学生相談室を開きカウンセリングを行っている。入学時の保護者説明会の他、2年次に保護者面談し情報共有を行っている。年に1回成績を送付しているほか、早めに状況報告を行い、連携して課題解決していけるよう取り組んでいる。

年に1回の健康診断の他、入学時の抗体価検査、ワクチン接種状況の確認をおこなっている。また、個別の状況に応じて対応を行っている。

VI 教育環境

令和5年度は防災マニュアルについて見直しを図った。また、学生生活の葉に明文化した。

VII 学生募集と受入

受験者数の減少傾向に対し、入学選抜試験の改革に取り組んだ。

VIII 法令の遵守

個人情報保護に向けて講座を開いている。自己評価の公表と共に、評価に基づき次年度以降改善を行っていく。